

## 4-11 東海地方の微小地震の分布(1980年11月1日～1981年4月30日)

### Distribution of Microearthquakes in Tokai District (November 1, 1980-April 30, 1981)

名古屋大学理学部  
School of Science, Nagoya University

前報<sup>1)</sup>にひきつづき1980年11月1日より1981年4月30日までの6ヶ月間における東海地方の微小地震活動について報告する。

第1図に1980年11月1日より1981年1月31日までの3ヶ月間、第2図に1981年2月1日より1981年4月30日までの3ヶ月間に名古屋大学中部および東海テレメータ観測網によって観測された微小地震の震央を深さ別に示す。深さ20Km以浅を地殻内地震、それ以深をフィリピン海プレートの地震とした。

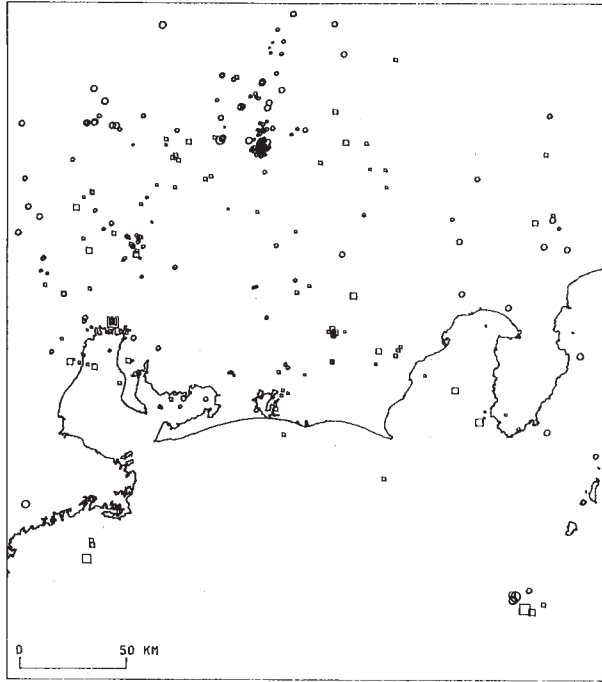
以下にその主な特徴を示す。

(1) 深い地震については前報にくらべて全体としての地震数、活動域等に大きな変化は見られないが、第2図において岐阜県北部および御前崎の南方沖(50Kmおよび100Km付近)に夫々地震がみられる。岐阜県北部のものについては地震が小さく、観測データが少ないため深さについての精度が悪く、浅い地震の可能性はある。南方沖の二つの地震については浅発地震の可能性は少なく、注目すべきものと思われる。

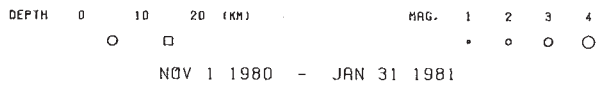
(2) 浅い地震については特に著しい活動は見られなかった。伊豆半島付近では前半3ヶ月間は殆んど地震活動が見られなかったが、後半に東北部でやや活発に地震が発生している。王滝村付近の群発地震はまだ継続しており、周辺の地震活動もかなり活発にみえる。また小規模ではあるが水窪付近に群発活動がみられ、4月14日より山梨県東部においてM4.7程度の地震と余震活動がみられた。

#### 参 考 文 献

- 1) 名古屋大学理学部：東海地方の微小地震の分布(1980年5月1日～1980年10月31日)  
連絡会報, 25(1981), 209-212.

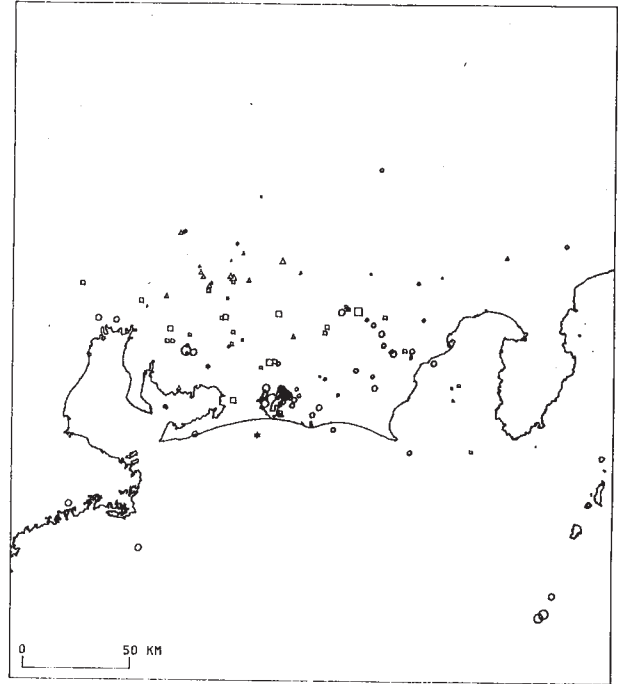


N=304

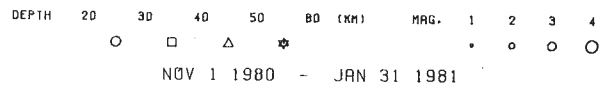


(NAGOYA UNIV)

第1図 微小地震の分布 (1980年11月1日~1981年1月31日)

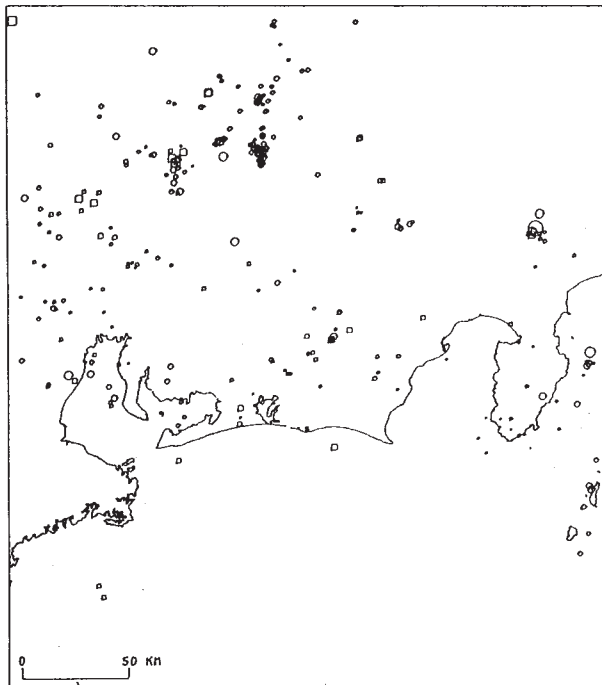


N=147

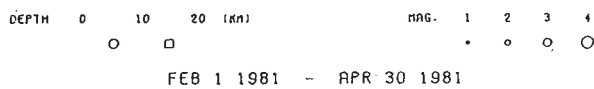


(NAGOYA UNIV)

Fig. 1 Epicenter distribution of earthquakes (November 1, 1980 - January 31, 1981).



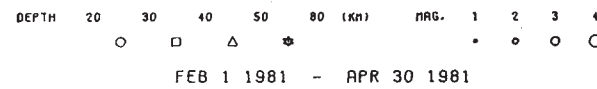
N=290



(NAGOYA UNIV)



N=109



(NAGOYA UNIV)

第2図 微小地震の分布 (1981年2月1日~1981年4月30日)

Fig. 2 Epicenter distribution of earthquakes (February 1, 1981 -April 30, 1981).